

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事監督員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
1 施工体制	I 施工体制一般	施工体制が適切である	施工体制がほぼ適切である	他の評価に該当しない	施工体制がやや不備である	施工体制が不備である
	□	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 施工計画書を、工事着手前に提出している。 <input type="checkbox"/> 作業分担の範囲を、施工体制台帳及び施工体系図に明確に記載している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書の内容と現場施工方法が一致している。 <input type="checkbox"/> 緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。 <input type="checkbox"/> 工場製作期間における技術者を適切に配置している。 <input type="checkbox"/> 機械設備、電気設備等について、制作工場における社内検査体制(規格値の設定や確認方法等)を整えている。 <input type="checkbox"/> 施工体制台帳、施工体系図が整備され、施工体系図も現場に掲げられ、現場と一致している。 <input type="checkbox"/> コリンズ(CORINS)の登録は工事監督員の確認を受けた上で、契約後等から10日以内に行われている。 <input type="checkbox"/> 雇用者等の雇用形態に応じて、建設業退職金共済、中小企業退職金共済等の制度に加入し、適正に処理されている。 <input type="checkbox"/> その他理由:			[] / [] = [] %	<input type="checkbox"/> 施工体制が一般に関して、工事監督員からの文書による改善指示を行った。 [] 上記該当事項があれば・・・ d 該当項目が 90%以上…………… a 該当項目が 80%以上90%未満…………… b 該当項目が 80%未満…………… c
	細別	a	b	c	d	e
	II 配置技術者 (現場代理人等)	技術者が適切に配置されている	技術者がほぼ適切に配置されている	他の評価に該当しない	技術者の配置がやや不備である	技術者の配置が不備である
	□	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選任及び配置している。 <input type="checkbox"/> 現場代理人が、工事全体を把握している。 <input type="checkbox"/> 設計図書と現場との相違があった場合は、監督職員と協議するなどの必要な対応を行っている。 <input type="checkbox"/> 工事監督員への報告を適時及び的確に行っている。 <input type="checkbox"/> 工事書類を共通仕様書及び諸基準に基づき適切に作成し、工事書類簡素化に取り組み、提出・提示を行っている。 <input type="checkbox"/> 契約書、設計図書、適用すべき諸基準等を理解し、施工に反映している。 <input type="checkbox"/> 施工上の課題となる条件(作業環境、気象、地質等)への対応を図っている。 <input type="checkbox"/> 下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。 <input type="checkbox"/> 監理(主任)技術者が、明確な根拠に基づいて技術的な判断を行っている。 <input type="checkbox"/> 施工に先立ち、創意工夫の提案をもって工事を進めている。 <input type="checkbox"/> その他理由:			[] / [] = [] %	<input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、工事監督員からの文書による改善指示を行った。 [] 上記該当事項があれば・・・ d 該当項目が 90%以上…………… a 該当項目が 80%以上90%未満…………… b 該当項目が 80%未満…………… c

① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事監督員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2 施工状況	I 施工管理	施工管理が適切である	施工管理がほぼ適切である	他の評価に該当しない	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である
	□	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 施工計画(品質管理を除く)に関して評価できる提案を現場で実施し、その効果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場条件の変化に対して、適切に対応している。 <input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響が無いよう保管している。 <input type="checkbox"/> 工事材料の使用及び調達計画が十分なされ管理されている。 <input type="checkbox"/> 日常の出来形管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。 <input type="checkbox"/> 日常の品質管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。 <input type="checkbox"/> 現場内の整理整頓を日常的に行っている。 <input type="checkbox"/> 工事材料の品質を証明する資料及び写真を整理している。 <input type="checkbox"/> 工事打合せ簿等を、不足無く整理している。 <input type="checkbox"/> 建設廃棄物及び建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 工事全般において、低騒音型、低振動型の建設機械及び車両を使用している。 <input type="checkbox"/> 工事全般において、排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。 <input type="checkbox"/> 契約約款第18条第1項に基づく設計図書の照査を行い、必要に応じて工事監督員の確認を受けて施工を行っている。 <input type="checkbox"/> 現場でのイメージアップに積極的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 立会確認・段階確認の手続きが適時、的確になされている。 <input type="checkbox"/> その他理由:	_____ / _____ = _____ %	<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、工事監督員からの文書による改善指示を行った。 _____ 上記該当事項があれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、工事監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 _____ 上記該当事項があれば・・・ e	該当項目が 90%以上…………… a 該当項目が 80%以上90%未満…………… b 該当項目が 80%未満…………… c
① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc 評価とする。						
	II 工程管理	工程管理が適切である	工程管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	工程管理がやや不備である	工程管理が不備である
	□	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した工程表を作成している。 <input type="checkbox"/> 実施工程表の作成及びフォローアップを行っており、適切に工程を管理している。 <input type="checkbox"/> 現場条件の変化への対応が迅速であり、施工の停滞が見られない。 <input type="checkbox"/> 時間制限や片側交互通行等の各種制約への対応が適切であり、大きな工程の遅れが無い。 <input type="checkbox"/> 工事の進捗を早めるための取り組みを行っている。 <input type="checkbox"/> 適切な工程管理を行い、工程の遅れが無い。 <input type="checkbox"/> 休日の確保を行っている。 <input type="checkbox"/> 計画工程以外の時間外作業がほとんど無い。 <input type="checkbox"/> その他理由:	_____ / _____ = _____ %	<input type="checkbox"/> 工程管理に関して、工事監督員からの文書による改善指示を行った。 _____ 上記該当事項があれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 工程管理に関して、工事監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 _____ 上記該当事項があれば・・・ e	該当項目が 90%以上…………… a 該当項目が 80%以上90%未満…………… b 該当項目が 80%未満…………… c
① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc 評価とする。						

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事監督員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2 施工状況	III 安全対策	安全対策を適切に行った [評価対象項目] <input type="checkbox"/> 災害防止(工事安全)協議会等を1回/月以上行っている。 <input type="checkbox"/> 創意工夫のある安全教育・訓練等を(半日/月)以上適切に実施し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が十分反映され、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 工事期間中を通じて、労働災害及び公衆災害が発生しなかった。 <input type="checkbox"/> 過積載防止に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 仮設工の点検及び管理を、チェックリスト等を用いて実施している。 <input type="checkbox"/> 保安施設の設置及び管理を、各種基準及び関係者間の協議に基づき実施している。 <input type="checkbox"/> 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 店社/パトロールを1回/月以上実施し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 各種安全/パトロールで指摘を受けていない、または指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正報告している。 <input type="checkbox"/> 安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 安全管理の臨機の措置を行った。 <input type="checkbox"/> 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。 <input type="checkbox"/> 交通事故防止について他の模範となる活動を行っている。 <input type="checkbox"/> 使用機械、車両等の点検整備等がなされ、その記録が管理されている。 <input type="checkbox"/> その他理由： <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div>	安全対策をほぼ適切に行った [評価対象項目] <input type="checkbox"/> 災害防止(工事安全)協議会等を1回/月以上行っている。 <input type="checkbox"/> 創意工夫のある安全教育・訓練等を(半日/月)以上適切に実施し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が十分反映され、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 工事期間中を通じて、労働災害及び公衆災害が発生しなかった。 <input type="checkbox"/> 過積載防止に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 仮設工の点検及び管理を、チェックリスト等を用いて実施している。 <input type="checkbox"/> 保安施設の設置及び管理を、各種基準及び関係者間の協議に基づき実施している。 <input type="checkbox"/> 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 店社/パトロールを1回/月以上実施し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 各種安全/パトロールで指摘を受けていない、または指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正報告している。 <input type="checkbox"/> 安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 安全管理の臨機の措置を行った。 <input type="checkbox"/> 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。 <input type="checkbox"/> 交通事故防止について他の模範となる活動を行っている。 <input type="checkbox"/> 使用機械、車両等の点検整備等がなされ、その記録が管理されている。 <input type="checkbox"/> その他理由： <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div>	他の評価に該当しない [評価対象項目] <input type="checkbox"/> 災害防止(工事安全)協議会等を1回/月以上行っている。 <input type="checkbox"/> 創意工夫のある安全教育・訓練等を(半日/月)以上適切に実施し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が十分反映され、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 工事期間中を通じて、労働災害及び公衆災害が発生しなかった。 <input type="checkbox"/> 過積載防止に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 仮設工の点検及び管理を、チェックリスト等を用いて実施している。 <input type="checkbox"/> 保安施設の設置及び管理を、各種基準及び関係者間の協議に基づき実施している。 <input type="checkbox"/> 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 店社/パトロールを1回/月以上実施し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 各種安全/パトロールで指摘を受けていない、または指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正報告している。 <input type="checkbox"/> 安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 安全管理の臨機の措置を行った。 <input type="checkbox"/> 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。 <input type="checkbox"/> 交通事故防止について他の模範となる活動を行っている。 <input type="checkbox"/> 使用機械、車両等の点検整備等がなされ、その記録が管理されている。 <input type="checkbox"/> その他理由： <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div>	安全対策がやや不備であった <input type="checkbox"/> 安全対策に関して、工事監督員からの文書による改善指示を行った。 <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div> 上記該当事項があれば・・・ d 該当項目が 90%以上…………… a 該当項目が 80%以上90%未満…………… b 該当項目が 80%未満…………… c <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc 評価とする。 </div>	安全対策が不備であった <input type="checkbox"/> 安全対策に関して、工事監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div> 上記該当事項があれば・・・ e 該当項目が 90%以上…………… a 該当項目が 80%以上90%未満…………… b 該当項目が 80%未満…………… c <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc 評価とする。 </div>
		細別	a	b	c	d
	IV 対外関係	対外関係が適切であった [評価対象項目] <input type="checkbox"/> 関係官庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。 <input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。 <input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。 <input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。 <input type="checkbox"/> その他理由： <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div>	対外関係がほぼ適切であった [評価対象項目] <input type="checkbox"/> 関係官庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。 <input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。 <input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。 <input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。 <input type="checkbox"/> その他理由： <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div>	他の評価に該当しない [評価対象項目] <input type="checkbox"/> 関係官庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。 <input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。 <input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。 <input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。 <input type="checkbox"/> その他理由： <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div>	対外関係がやや不備であった <input type="checkbox"/> 対外関係に関して、工事監督員からの文書による改善指示を行った。 <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div> 上記該当事項があれば・・・ d 該当項目が 90%以上…………… a 該当項目が 80%以上90%未満…………… b 該当項目が 80%未満…………… c <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc 評価とする。 </div>	対外関係が不備であった <input type="checkbox"/> 対外関係に関して、工事監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%; margin-top: 5px;"></div> 上記該当事項があれば・・・ e 該当項目が 90%以上…………… a 該当項目が 80%以上90%未満…………… b 該当項目が 80%未満…………… c <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc 評価とする。 </div>
		細別	a	b	c	d

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ I 出来形	共通 (機械設備工事・電気設備工事は除く) <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。		
		① 出来形の評定は、工事全般を通したものとす。 ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状寸法である。 ③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づく形状寸法を確保する管理体系である。 ④ ばらつきの考え方は別図参照。 ⑤ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。			<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行った。 <input style="width: 100%;" type="text"/> 上記該当事項があれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、工事監督員が改造請求を行った。 <input style="width: 100%;" type="text"/> 上記該当事項があれば・・・ e
	工種 機械設備工事 <input type="checkbox"/>	a 出来形管理が適切である [評価対象項目]	b 出来形管理がほぼ適切である	c 他の評価に該当しない	d 出来形管理がやや不備である	e 出来形管理が不備である
		<input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫している。 <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状および寸法の実測値が許容範囲内である。 <input type="checkbox"/> 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足している。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理している。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真等(工事監督職員が臨場した資料等)で確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理している。 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の塗膜厚管理を適切にまとめている。 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の出来形管理を適切にまとめている。 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている予備品に不足が無い。 <input type="checkbox"/> 分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の劣化状況及び回復状況を図表等に記録している。 <input type="checkbox"/> その他理由：	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行った。 <input style="width: 100%;" type="text"/> 上記該当事項があれば・・・ d 該当項目が 80%以上…………… a 該当項目が 60%以上80%未満…………… b 該当項目が 60%未満…………… c	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、工事監督員が改造請求を行った。 <input style="width: 100%;" type="text"/> 上記該当事項があれば・・・ e
				<input style="width: 50px;" type="text"/> / <input style="width: 50px;" type="text"/> = <input style="width: 50px;" type="text"/> %	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。	

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。確は確認項目、加は加点項目、減は減点項目を示す。

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e	
3 出来形及び出来ばえ	電気設備工事	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の評価に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である	
I 出来形	<input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫している。</p> <p><input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。</p> <p><input type="checkbox"/> 設備の据付及び固定方法が設計図書及び承諾図書通り施工している。</p> <p><input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理している。</p> <p><input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真等(工事監督職員が臨場した資料等)で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理している。</p> <p><input type="checkbox"/> 機器等の測定(試験)結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理している。</p> <p><input type="checkbox"/> 配管及び配線が、設計図書又は承諾図書通りに敷設している。</p> <p><input type="checkbox"/> 測定機器のキャリブレーションを、定期的実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 行先などを表示した名札がケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。</p> <p><input type="checkbox"/> 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他理由:</p>			<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>	<p><input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行った。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <p>上記該当事項があれば・・・ d</p>	<p><input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、工事監督員が改造請求を行った。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <p>上記該当事項があれば・・・ e</p>
					<p>該当項目が 80%以上..... a</p> <p>該当項目が 60%以上80%未満..... b</p> <p>該当項目が 60%未満..... c</p>		
					<div style="border: 1px dotted black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> </div>		
					<p style="text-align: right;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> % </p>		

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	土木工事 (機械設備工事等以外の工事)	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の評価に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 品質管理基準で規定している品質管理項目及び基準値を施工計画書に漏れなく記載している。 <input type="checkbox"/> 品質管理基準に規定が無く、協会マニュアル等による品質管理基準の適用が必要な場合、その品質管理項目及び基準値を施工計画書に記載している。 <input type="checkbox"/> 材料確認が適時に実施され、品質が確認できた。 <input type="checkbox"/> 段階確認(施工状況把握項目含む)が施工計画書通りに適時に実施され、品質が確認できた。 <input type="checkbox"/> 工事完成時に工事書類として品質管理図表が提出され、品質管理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成した工事に出来ばえから、品質に問題がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 品質向上のための特別な対策について、工事打合せ簿等の書面で工事監督員と協議し、施工計画書に反映した後に実施され、その効果が確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由:			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、工事監督員が改造請求を行った。	
		[] / [] = [] %			上記該当事項があれば・・・ d 該当項目が 90%以上…………… a 該当項目が 80%以上90%未満…………… b 該当項目が 80%未満…………… c	上記該当事項があれば・・・ e ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。
	機械設備工事	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の評価に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
	共通	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の書類(現物照合)の内容が設計図書の仕様を満足している。 <input type="checkbox"/> 設備の機能および性能を、承認図書のとおり確保している。 <input type="checkbox"/> 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承認図書として提出している。 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられている。 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の品質管理項目について規格値を満足している。 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の品質管理項目について規格値を満足している。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯を承認図書のとおり配置し、操作性に優れている。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備の安全装置及び保護装置が承認図書のとおり機能している。 <input type="checkbox"/> 小配管、電気配線・配管が、承諾図書のとおり敷設している。 <input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書を工夫している。 <input type="checkbox"/> 完成図書(取扱説明書)に定期的な点検及び交換を必要とする部品並びに箇所を明示している。 <input type="checkbox"/> 機器の配置が点検しやすいように工夫している。 <input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配置が、部品等の交換作業を容易にできるよう工夫している。 <input type="checkbox"/> 二次コンクリート配合試験及び試験練りが実施され、試験成績表にまとめられている。 <input type="checkbox"/> バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示している。 <input type="checkbox"/> 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示している。 <input type="checkbox"/> 回転部や高音部等の危険箇所に表示又は防護をしている。 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現地状況を勘案し施工方法等について、提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> その他理由:			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、工事監督員が改造請求を行った。	
		[] / [] = [] %			上記該当事項があれば・・・ d 該当項目が 80%以上…………… a 該当項目が 60%以上80%未満…………… b 該当項目が 60%未満…………… c	上記該当事項があれば・・・ e ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	電気設備工事	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の評価に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
	共通	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 制作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施している。 <input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の結果が、品質保証書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足している。 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が、設計図書を満足し、成績書にまとめている。 <input type="checkbox"/> 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおりに配置され、操作性に優れている。 <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無い。 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が設計図書の仕様を満足している。 <input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能及び性能が、仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足している。 <input type="checkbox"/> 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認している。 <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成(修繕(改造・更新含む)の場合は、修正又は更新)している。 <input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示している。 <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫している。 <input type="checkbox"/> その他理由:			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、工事監督員が改造請求を行った。	
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。			該当項目が 80%以上..... a 該当項目が 60%以上80%未満..... b 該当項目が 60%未満..... c	
		[] / [] = [] %				
	工種	a	b	c	d	e
	維持工事(清掃工、除草工、付属物工、除雪、応急処理等)	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の評価に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
	共通	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 常に緊急的な作業に対応できる体制を整えている。 <input type="checkbox"/> 緊急的な作業に対し、迅速に対応している。 <input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対し、現地状況を勘案し、施工方や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 施行後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っている。 <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由:			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、工事監督員が改造請求を行った。	
		該当項目が 6項目以上..... a 該当項目が 4項目以上..... b 該当項目が 3項目以下..... c			注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大8項目とする。	

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e	
3 出来形及び出来ばえ	通信設備工事・受変電設備工事	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の評価に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である	
II 品質	共通	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 制作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施している。 <input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の結果が、品質保証書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足している。 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が、設計図書を満足し、成績書にまとめている。 <input type="checkbox"/> 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れている。 <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無い。 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が設計図書の仕様を満足している。 <input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能及び性能が、仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足している。 <input type="checkbox"/> 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認している。 <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成(修繕(改造・更新含む)の場合は、修正又は更新)している。 <input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示している。 <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取り換え作業が容易にできるよう工夫している。 <input type="checkbox"/> その他理由:			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当事項があれば・・・ d 該当項目が 80%以上…………… a 該当項目が 60%以上80%未満…………… b 該当項目が 60%未満…………… c ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。		<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、工事監督員が改造請求を行った。 上記該当事項があれば・・・ e
	修繕工事(橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の評価に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である	
	共通(農)	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 常に緊急的な作業に対応できる体制を整えている。 <input type="checkbox"/> 緊急的な作業に対し、迅速に対応している。 <input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対し、現地状況を勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 施行後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っている。 <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由:			<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当事項があれば・・・ d 該当項目が 6項目以上…………… a 該当項目が 4項目以上…………… b 該当項目が 3項目以下…………… c		<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、工事監督員が改造請求を行った。 上記該当事項があれば・・・ e

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事監督員)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細 別	技術力キーワード一覧表	備 考
5 創意工夫	I.創意工夫	■準備・後片付け関係 <input type="checkbox"/>	
		■施工関係 <input type="checkbox"/> 1. 施工に伴う器具、工具、装置等に関する工夫又は、設備据付後の試運転調整に関する工夫 <input type="checkbox"/> 2. コンクリート二次製品などの代替材の利用に関する工夫 <input type="checkbox"/> 3. 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫 <input type="checkbox"/> 4. 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫 <input type="checkbox"/> 5. 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 6. 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 7. 照明などの視界の確保に関する工夫 <input type="checkbox"/> 8. 仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫 <input type="checkbox"/> 9. 運搬車両・施工機械等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 10. 支保工、型枠工、足場工、仮橋、覆工版、山留め等の仮設工に関する工夫 <input type="checkbox"/> 11. 盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫 <input type="checkbox"/> 12. 施工計画書の作成、写真の管理等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 13. 出来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 14. 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫 <input type="checkbox"/> 15. 特殊な工法や材料を用いた工事 <input type="checkbox"/> 16. 優れた技術力又は能力として評価する技術を用いた工事 <input type="checkbox"/> 17. その他：	
		■品質関係 <input type="checkbox"/> 18. 土工、設備、電気の高品質向上に関する工夫 <input type="checkbox"/> 19. コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫 <input type="checkbox"/> 20. 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫 <input type="checkbox"/> 21. 配筋・溶接作業等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 22. その他：	
		■安全衛生関係 <input type="checkbox"/> 23. 安全を確保するための仮設備等に関する工夫(落下物、墜落、転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等) <input type="checkbox"/> 24. 安全教育、技術向上講習会、安全パトロール等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 25. 現場事務所、労働者宿舍等の空間及び設備等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 26. 有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 27. 一般車両突入時の被害軽減方策又は一般交通の安全確保に関する工夫 <input type="checkbox"/> 28. 厳しい作業環境の改善に関する工夫 <input type="checkbox"/> 29. 環境保全に関する工夫 <input type="checkbox"/> 30. その他：	
		■新技術活用 <input type="checkbox"/> 31. NETIS登録技術のうち推奨技術、準推奨技術、活用促進技術を活用している。(品質・施工性の確保・向上等に効果のある場合に限る)	
		■その他 <input type="checkbox"/>	
記述評価 【レマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述】	評点： <u> </u> 点 ※・特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。 ・加点は+7点～0点の範囲とする。 ・該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する。 1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上または以下の点数を与えても良い。	【創意工夫の詳細評価】	

※1. 「2. 施工状況」「3. 出来形及び出来ばえ」においても創意工夫は加点対象とされるが、企業努力を引き立たせるため、本考査項目でも再評価する。

※2. 創意工夫は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが、非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では軽微なものを評価する。

※3. キーワードの評価(選定)及び詳細評価は、工事主管課長との合議をもって記述する。

※4. 設計変更の対象としない工法や施工段取り等で軽微な行為を記述。

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事主管課長)

考査項目	細別	a	b	c	d	e							
2 施工状況	II 工程管理	工程管理が優れている	工程管理がやや優れている	他の評価に該当しない	工程管理がやや不備である	工程管理が不備である							
	□	<input type="checkbox"/> 隣接する他の工事などとの工程調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 地元及び関係機関との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 工程管理を適切に行ったことにより、休日や夜間工事の回避等を行い、工事による地域への影響を軽減させた。 <input type="checkbox"/> 工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。 <input type="checkbox"/> 災害復旧工事など特に工期的な制約がある場合において、余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 工事施工箇所が広範囲に点在している場合において、工程管理を的確に行い、余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> その他理由：		<table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="height: 20px;"> </td></tr> </table>									
※上記該当項目を総合的に判断して、a, b, c, d, e評価を行う。													
	細別	a	b	c	d	e							
	III 安全対策	安全対策が優れている	安全対策がやや優れている	他の評価に該当しない	安全対策がやや不備である	安全対策が不備である							
	□	<input type="checkbox"/> 建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著であった。 <input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 安全対策に関する技術開発や創意工夫に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 災害防止(工事安全)協議会等での活動に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 安全対策に係る取り組みが地域から評価された。 <input type="checkbox"/> その他理由：		<table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="height: 20px;"> </td></tr> </table>									
※上記該当項目を総合的に判断して、a, b, c, d, e評価を行う。													

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事主管課長)

[記入方法] 該当する項目の□にレマーク、●に○を記入する。

考査項目	細 別	技術力キーワード一覧表	【事例】具体的な施工条件等への対応事例																						
4 工事特性	I 施工条件への対応	<p>I 構造物の特殊性への対応</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模が特殊な工事</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事</p> <p><input type="checkbox"/> 3. その他理由()</p> <p>※ 上記の対応事項に1つ以上ポイントが付けば4点の加点とする。</p> <p>II 都市部等の作業環境、社会条件等への対応</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事</p> <p><input type="checkbox"/> 6. 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事</p> <p><input type="checkbox"/> 7. 現道上で交通規制に大きく影響する工事</p> <p><input type="checkbox"/> 8. 事故や災害発生直後の緊急的な対応が必要な工事</p> <p><input type="checkbox"/> 9. 施工箇所が広範囲にわたる工事</p> <p><input type="checkbox"/> 10. その他理由()</p> <p>※ 上記の対応事項に1つ以上ポイントが付けば6点の加点とする。</p> <p>III 厳しい自然・地盤条件への対応</p> <p><input type="checkbox"/> 11. 特殊な地盤条件への対応が必要な工事</p> <p><input type="checkbox"/> 12. 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事</p> <p><input type="checkbox"/> 13. 被災箇所への処置や急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事</p> <p><input type="checkbox"/> 14. 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事</p> <p><input type="checkbox"/> 15. その他理由()</p> <p>※ 上記の対応事項に1つ以上ポイントが付けば4点の加点とする。</p> <p>IV 長期工事における安全確保への対応</p> <p><input type="checkbox"/> 16. 12か月を超える工期で、事故が無く完成した工事※但し、文書注意に至らない事故は除く。</p> <p><input type="checkbox"/> 17. その他理由()</p> <p>※ 上記の対応事項に1つ以上ポイントが付けば6点の加点とする。</p>	<p>【規模が特殊な工事】下記の該当する項目が、工事特性で評価できる場合</p> <table border="1"> <tr> <td>・ 切土の土工量10万m³以上、盛土の土工量8万m³以上</td> <td>・ 揚排水機場 吐出し管径1000mm以上</td> </tr> <tr> <td>・ トンネル内空面積(NATM)50㎡以上、(沈埋工法)150㎡以上</td> <td>・ 流路工 計画高水流量250m³以上</td> </tr> <tr> <td>・ ダム 堤高10m以上、砂防ダム 堤高15m以上</td> <td>・ 橋梁上部工 最大支間長30m以上</td> </tr> <tr> <td>・ 護岸・築堤の平均高 5m以上</td> <td>・ パイプライン管径 2000mm以上</td> </tr> <tr> <td>・ ダム用水門の設置 水深13m以上</td> <td>・ 地滑り防止工 幅50m以上かつ法長75m以上</td> </tr> <tr> <td>・ 樋門・樋管の内空面積8㎡以上</td> <td>・ 堰、水門 最大径間25m以上又は径間数2径間以上</td> </tr> <tr> <td>・ 浚渫土量50万m³以上</td> <td>・ 堰又は水門の扉体面積25㎡/門以上</td> </tr> <tr> <td>・ 橋梁下部工 高さ15m以上</td> <td>・ 掛樋工、樋管の延長30m以上</td> </tr> <tr> <td>・ 転流トンネル 流下能力 200m³/s以上</td> <td>・ 頭首工、径間数4径間以上</td> </tr> <tr> <td>・ トンネル(シールド)直径4m以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ トンネル(開削)開削深さ 10m以上</td> <td></td> </tr> </table> <p>【施工条件が特に変化する工事】下記の該当する項目が、工事特性で評価できる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 砂防工事等で現地調査に基づき、現地合わせの再設計施工が必要な工事。 ・ 鉄道営業線に隣接した橋脚の耐震補強工事や河道内の流水部における橋脚撤去工事。 ・ 供用中の道路トンネルの拡幅工事。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ その他構造物固有の難しさへの対応が特に必要な工事。 ・ 地山強度が低い又は土被りが薄いため、FEM解析等の施工のための検討が必要な工事。 ・ その他技術固有の難しさへの対応が必要な工事。 <p>【4について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。 ・ 監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。 <p>【5について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事。 ・ 地元調整や環境対策などの制約が多い工事。 ・ その他各種制約があり、施工に特に厳しい制限を受けた工事。 <p>【6について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市街地での夜間工事。 ・ DID地区での工事。 <p>【7について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日交通量が概ね1万台以上の道路で片側交互通行の交通規制をした工事。 ・ 工事期間中の大半にわたって、交通開放を行うため規制標識の設置・撤去を日々行った工事。 <p>【8について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事故や災害発生直後の緊急的な工事で、24時間対応の施工等により早期の完成が求められる工事。 <p>【9について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業現場が広範囲に分布している工事 <p>【10について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工ヤードの広さや高さ制限があり、機械の使用など施工に制約を受けた工事。 ・ その他、周辺環境又は社会条件への対応が特に必要な工事。 <p>【11について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 河川内の橋脚工事において地下水位が高く、ウェルポイント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必要な工事。 ・ 支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎毎に地質調査を実施する他、支持地盤を確認しながら再設計した工事。 ・ 施行不可能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数等を的確に把握する必要がある工事。 <p>【12について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海岸及び河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。 ・ 潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業構台等を設置した工事。 <p>【13について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。または命綱を使用する必要があった工事。(法面工は除く) ・ 斜面上または急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地すべり防止対策等の安全対策を必要とした工事。 ・ 土石流危険渓流に指定された区域内における工事。 ・被災箇所における二次災害の危険性に対する注意が必要とされる工事。 <p>【14について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イヌワシ等の猛禽類などの貴重な動植物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事。 <p>【15について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。 ・ その他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。 <p>【16について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受注者の責によらない工期延期により工期が12ヶ月を超えたものを含む。 ・ 工事の全面及び一時中止機関を除く実質工期とする。 	・ 切土の土工量10万m ³ 以上、盛土の土工量8万m ³ 以上	・ 揚排水機場 吐出し管径1000mm以上	・ トンネル内空面積(NATM)50㎡以上、(沈埋工法)150㎡以上	・ 流路工 計画高水流量250m ³ 以上	・ ダム 堤高10m以上、砂防ダム 堤高15m以上	・ 橋梁上部工 最大支間長30m以上	・ 護岸・築堤の平均高 5m以上	・ パイプライン管径 2000mm以上	・ ダム用水門の設置 水深13m以上	・ 地滑り防止工 幅50m以上かつ法長75m以上	・ 樋門・樋管の内空面積8㎡以上	・ 堰、水門 最大径間25m以上又は径間数2径間以上	・ 浚渫土量50万m ³ 以上	・ 堰又は水門の扉体面積25㎡/門以上	・ 橋梁下部工 高さ15m以上	・ 掛樋工、樋管の延長30m以上	・ 転流トンネル 流下能力 200m ³ /s以上	・ 頭首工、径間数4径間以上	・ トンネル(シールド)直径4m以上		・ トンネル(開削)開削深さ 10m以上	
・ 切土の土工量10万m ³ 以上、盛土の土工量8万m ³ 以上	・ 揚排水機場 吐出し管径1000mm以上																								
・ トンネル内空面積(NATM)50㎡以上、(沈埋工法)150㎡以上	・ 流路工 計画高水流量250m ³ 以上																								
・ ダム 堤高10m以上、砂防ダム 堤高15m以上	・ 橋梁上部工 最大支間長30m以上																								
・ 護岸・築堤の平均高 5m以上	・ パイプライン管径 2000mm以上																								
・ ダム用水門の設置 水深13m以上	・ 地滑り防止工 幅50m以上かつ法長75m以上																								
・ 樋門・樋管の内空面積8㎡以上	・ 堰、水門 最大径間25m以上又は径間数2径間以上																								
・ 浚渫土量50万m ³ 以上	・ 堰又は水門の扉体面積25㎡/門以上																								
・ 橋梁下部工 高さ15m以上	・ 掛樋工、樋管の延長30m以上																								
・ 転流トンネル 流下能力 200m ³ /s以上	・ 頭首工、径間数4径間以上																								
・ トンネル(シールド)直径4m以上																									
・ トンネル(開削)開削深さ 10m以上																									
記述評価	【レマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述】	<p>評点: _____ 点</p> <p>※1 工事材料は、最大20点の加点評価とする。</p> <p>※2 評価にあたっては、主任監督職員等の意見も参考に評価する。</p>	【工事特性の詳細評価】																						

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事主管課長)

考査項目	細別	a1	a2	b1	b2	c
6 社会性等	I 地域への貢献等 <input type="checkbox"/>	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない
<p> <input type="checkbox"/> 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。 <input type="checkbox"/> 定期的に応報紙の配布や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> 道路清掃などを積極的に実施し、地域に貢献した。 <input type="checkbox"/> 地域が主催するイベントへ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> 災害時などにおいて、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。 <input type="checkbox"/> その他理由： </p>						
<p> ※上記該当項目の数と重みを勘案し総合的に判断して、a1, a2, b1, b2, c評価を行う。 (c評価を基準とし、1項目1ランクアップを目安とするが、内容によっては2ランクアップも可とする。) </p>						

※地域への貢献とは、工事の施工にともなって、地域社会や住民に対する配慮などの貢献について、加点评価する。

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、必要に応じて点数を記入する。

(工事主管課長)

考査項目	法令遵守等の該当項目一覧表	
8 法令遵守等	措 置 内 容	点 数
	<input type="checkbox"/> 1. 指名停止3ヶ月以上	-20点
	<input type="checkbox"/> 2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点
	<input type="checkbox"/> 3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点
	<input type="checkbox"/> 4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点
	<input type="checkbox"/> 5. 三木町建設工事指名停止等措置要綱における文書注意	- 8点
	<input type="checkbox"/> 6. 三木町建設工事指名停止等措置要綱における口頭注意	- 5点
	<input type="checkbox"/> 7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、三木町建設工事指名停止等措置要綱における口頭注意以上の処分が行われなかった場合	- 3点
<input type="checkbox"/> 8. 総合評価方式による入札を行った工事について、落札者の決定に反映された技術提案が履行できなかった場合。交通事故防止計画を策定している工事において、工事の施工にあたり工事関係者(二次下請け以降を除く)が交通事故をおこした場合はさらに-3点とする。	- <input style="width: 30px;" type="text"/> 点	

項目該当なし

左記表の1~7の該当項目と8の和
 - 点

① 本評価項目(8. 法令遵守等)で評価する事例は、「工事の施工にあたり、工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった」場合に適用する。

② 「工事の施工にあたり」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。

③ 「工事関係者」とは、②を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び②を履行するために下請契約し、その履行をするために従事するものに限定する。

【上記で評価する場合の適応事例】

- ・ 1. 入札前に提出した調査資料等が虚偽であった事実が判明した。
- ・ 2. 承諾なしに権利義務等第三者譲渡又は承継を行った。
- ・ 3. 宿舍環境等の使用人等に関する労働条件に問題があり、送検等された。
- ・ 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。
- ・ 5. 当該工事関係者が贈収賄等により逮捕または公訴された。
- ・ 6. 建設業法に違反する事実が判明した。Ex)一括下請(上請)、技術者の専任違反等
- ・ 7. 入国管理法に違反する外国人の不法労働者が判明し、送検等された。
- ・ 8. 使用人等の就労に関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。
- ・ 9. 監督または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。あるいは不当な政治力等の圧力をかけ、妨害した。
- ・ 10. 下請代金遅延防止法第4条に規定する下請代金の支払いを期日に行っていない。あるいは不当に下請代金の額を減じている。あるいはそれに類する行為がある。
- ・ 11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。
- ・ 12. 受注企業の社員に「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等、暴力団関係者がいることが判明した。
- ・ 13. 下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは暴力団対策法第9条に記載されている、砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。
- ・ 14. 安全管理の処分が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。
- ・ 15. 施工体制台帳、施工体系図が不備で、監督職員から文書等による改善指示を行ったが、これに従わなかった。
- ・ 16. 社会保険等未加入業者と下請契約を締結していることが判明した。
- ・ 17. その他 (理由: _____)

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。確は確認項目、加は加点項目、減は減点項目を示す。

(工事検査員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2 施工状況	I 施工管理	施工管理が優れている	施工管理がやや優れている	他の評価に該当しない	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である
	□	<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> 契約約款第18条第1項第1号から5号に基づく設計図書の照査を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに設計図書内容及び現場条件を反映したものとなっていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合(工期や数量等の軽微な変更は除く)は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響が無いよう工事材料を保管していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事材料の資料が整理及び確認がなされ、管理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 建設廃棄物及び建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で適確に整備していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫が見られる。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 社内の管理基準を作成し管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 建退共の証紙が適切に配布され管理できている。</p> <p><input type="checkbox"/> その他の理由:</p>			<p><input type="checkbox"/> 施工管理に関して、工事監督員からの文書による改善指示を行った。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <p>上記該当事項があれば・・・d</p>	<p><input type="checkbox"/> 施工管理に関して、工事監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> <p>上記該当事項があれば・・・e</p>
		<p>該当項目が 90%以上…………… a</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満…………… b</p> <p>該当項目が 80%未満…………… c</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> % </div>			
<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>						

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	細別	a1	a2	b1	b2	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	I 出来形 共通 (機械設備工事・電気設備工事は除く)	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の4項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の2項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a～b2に該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行った。 <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> 上記該当事項があれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。 <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div> 上記該当事項があれば・・・ e
		<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき適正に管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真等(工事監督員等が臨場した資料等)で確認できる。 <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> 出来形管理基準が定められていない工種について、工事監督員と協議の上で管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由：						
		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ① 出来形の評定は、工事全般を通したものとす。 ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状寸法である。 ③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づく形状寸法を確保する管理体系である。 ④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。 ⑤ ばらつきの考え方は別図参照。 </div>						

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e	
3 出来形及び出来ばえ	機械設備工事	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない			
I 出来形	<input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫している。 <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。 <input type="checkbox"/> 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足している。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理している。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真等(工事監督員等が臨場した資料等)で確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理している。 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の塗膜厚管理を適切にまとめている。 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の出来形管理を適切にまとめている。 <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている予備品に不足が無い。 <input type="checkbox"/> 分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の劣化状況及び回復状況を図表等に記録している。 <input type="checkbox"/> その他理由: 				<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>		<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。
							<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px;"></div> 上記該当事項があれば・・・ d	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px;"></div> 上記該当事項があれば・・・ e	
							<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; display: inline-block;"></div> / <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; display: inline-block;"></div> = <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; display: inline-block;"></div> %		
		該当項目が 90%以上..... a1 該当項目が 80%以上90%未満..... a2 該当項目が 70%以上80%未満..... b1 該当項目が 60%以上70%未満..... b2 該当項目が 60%未満..... c	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。						

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e	
3 出来形及び出来ばえ	電気設備工事	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない			
I 出来形	<input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫している。 <input type="checkbox"/> 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。 <input type="checkbox"/> 設備の据付及び固定方法が設計図書又は承諾図書通り施工している。 <input type="checkbox"/> 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理している。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真等(工事監督員等が臨場した資料等)で確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理している。 <input type="checkbox"/> 機器等の測定(試験)結果が、その都度出来形管理図及び出来形管理図表などに記録され、適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 配管及び配線が、設計図書又は承諾図書通りに敷設している。 <input type="checkbox"/> 測定機器のキャブレーションを、定期的を実施している。 <input type="checkbox"/> 行先などを表示した名札がケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。 <input type="checkbox"/> 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由: 					<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法 又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。	
							<input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> = <input type="checkbox"/> %		
		該当項目が 90%以上..... a1 該当項目が 80%以上90%未満..... a2 該当項目が 70%以上80%未満..... b1 該当項目が 60%以上70%未満..... b2 該当項目が 60%未満..... c	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>					上記該当事項があれば... d	上記該当事項があれば... e

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	1.コンクリート構造 物工事	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量・単位水量・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時に必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。(進行性のクラックで無く、発生したクラックに対しては有識者の意見に基づく適切な処置を行っている。) <input type="checkbox"/> その他理由:				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当事項があれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。 上記該当事項があれば・・・ e	
		該当項目が 90%以上…………… a1 該当項目が 80%以上90%未満…………… a2 該当項目が 70%以上80%未満…………… b1 該当項目が 60%以上70%未満…………… b2 該当項目が 60%未満…………… c	$\frac{\quad}{\quad} = \quad\% $	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。				

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	2.土工事(盛土・築堤工事等)	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 一層当たりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂が無い。 <input type="checkbox"/> 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由:				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。		
		<p>該当項目が 90%以上..... a1 該当項目が 80%以上90%未満..... a2 該当項目が 70%以上80%未満..... b1 該当項目が 60%以上70%未満..... b2 該当項目が 60%未満..... c</p>				<p>上記該当事項があれば... d 上記該当事項があれば... e</p>		
		<p>該当項目が 90%以上..... a1 該当項目が 80%以上90%未満..... a2 該当項目が 70%以上80%未満..... b1 該当項目が 60%以上70%未満..... b2 該当項目が 60%未満..... c</p>				<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>		
		<p>_____ / _____ = _____ %</p>						

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e	
3 出来形及び出来ばえ	3.切土工事	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない			
II 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂が無い。 <input type="checkbox"/> 伐間除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由: 				<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。
		<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> 上記該当事項があれば・・・ d	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> 上記該当事項があれば・・・ e						
		該当項目が 90%以上…………… a1 該当項目が 80%以上90%未満…………… a2 該当項目が 70%以上80%未満…………… b1 該当項目が 60%以上70%未満…………… b2 該当項目が 60%未満…………… c	$\frac{\text{ }}{\text{ }} = \text{ } \%$		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>				

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	4.護岸・根固・水制工事	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないように十分に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 石積(張)工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック等を損傷なく設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工にあたって、床掘個所の湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。(進行性のクラックで無く、発生したクラックに対しては有識者の意見に基づく適切な処置を行っている。) <input type="checkbox"/> その他理由: 				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。	
							<input type="checkbox"/> 上記該当事項があれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 上記該当事項があれば・・・ e
							<input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %	
							① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。	

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	5.鋼橋工事(1/2)	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II 品質	工場制作 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 鋼材の種類を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由:				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。		
							<input type="checkbox"/> 上記該当事項があれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 上記該当事項があれば・・・ e

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e		
3 出来形及び出来ばえ	5.鋼橋工事(2/2)	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない				
II 品質	架設関係 <input type="checkbox"/>	[評価対象項目]					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。		
		<input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 支承の据付で、コンクリート面のチッピング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 架設に用いる仮設備及び架設用機材について品質、性能が確保できる規模及び強度を有して確認していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由：								
		該当項目が 90%以上..... a1 該当項目が 80%以上90%未満..... a2 該当項目が 70%以上80%未満..... b1 該当項目が 60%以上70%未満..... b2 該当項目が 60%未満..... c	<input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合にはc評価とする。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。
							<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。		

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	6.砂防構造物工事	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II 品質	共通	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量・単位水量・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っている。 <input type="checkbox"/> 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋及び鋼材の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。(進行性のクラックで無く、発生したクラックに対しては有識者の意見に基づく適切な処置を行っている。) <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> コンクリート打設までびび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付機及び測定機器のキャブレションを実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由:					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当事項があれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。 上記該当事項があれば・・・ e
	砂防築造工事						<p>該当項目が 90%以上..... a1</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... a2</p> <p>該当項目が 70%以上80%未満..... b1</p> <p>該当項目が 60%以上70%未満..... b2</p> <p>該当項目が 60%未満..... c</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>	[] / [] = [] %

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	7.舗装工事(1/2)	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II 品質	<input type="checkbox"/> 路盤・路床工事関係 <input type="checkbox"/> アスファルト舗装工関係	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において、一層の仕上り厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由： <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由：					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 上記該当事項があれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。 <input type="checkbox"/> 上記該当事項があれば・・・ e

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e									
3 出来形及び出来ばえ	7.舗装工事(2/2)	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない											
II 品質	<input type="checkbox"/> コンクリート舗装工関係	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量・単位水量・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装工の施工に先だて、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 運搬時間、打設方法及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> チェアー及びタイバー(目地金物)を損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由:				<table border="1"> <tr><td> </td></tr> </table>											
		該当項目が 90%以上..... a1 該当項目が 80%以上90%未満..... a2 該当項目が 70%以上80%未満..... b1 該当項目が 60%以上70%未満..... b2 該当項目が 60%未満..... c	$\frac{\text{ } \quad \text{ }}{\text{ } \quad \text{ }} = \text{ } \quad \text{ } \%$		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ① 当該評価対象項目のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>												

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	8.法面工事(1/2)	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II 品質	共通	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。(特に法砕工、コンクリート又はモルタル吹付工関係)					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。
	種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工関係	<input type="checkbox"/> 施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やごみ等を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締めを十分行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由:						
	コンクリート又はモルタル吹付工関係	<input type="checkbox"/> 使用材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網が破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吸水性の吹付け面において、事前に給水させてから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由:						

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	8.法面工事(2/2)	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II 品質	現場打法枠工関係(プレキャスト法枠工含む)	<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 枠内に空隙が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 層間にはく離が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由: 						
		<p>該当項目が 90%以上..... a1</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... a2</p> <p>該当項目が 70%以上80%未満..... b1</p> <p>該当項目が 60%以上70%未満..... b2</p> <p>該当項目が 60%未満..... c</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>					

① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	10.コンクリート橋上部工事 (PC及びRCを対象)	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量・単位水量・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> スーパーの品質及び個数が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレベーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用する装置及び機器のキャリブレーション(検査・調整)を事前に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 有害なクラックが無い。(進行性のクラックで無く、発生したクラックに対しては有識者の意見に基づく適切な処置を行っている。) <input type="checkbox"/> その他理由:				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。	
		<p>該当項目が 90%以上..... a1 該当項目が 80%以上90%未満..... a2 該当項目が 70%以上80%未満..... b1 該当項目が 60%以上70%未満..... b2 該当項目が 60%未満..... c</p>				<p>① 当該評価対象項目のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	<p>上記該当事項があれば... d</p>	<p>上記該当事項があれば... e</p>
		<p>□ / □ = □ %</p>						

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e	
3 出来形及び出来ばえ	11. 塗装工事	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない			
II 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ケレンを入念に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由: 				<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。</p>		<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。</p>	
		<p>該当項目が 90%以上..... a1</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... a2</p> <p>該当項目が 70%以上80%未満..... b1</p> <p>該当項目が 60%以上70%未満..... b2</p> <p>該当項目が 60%未満..... c</p>				<p>上記該当事項があれば... d</p>		<p>上記該当事項があれば... e</p>	
		<p>該当項目が 90%以上..... a1</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... a2</p> <p>該当項目が 70%以上80%未満..... b1</p> <p>該当項目が 60%以上70%未満..... b2</p> <p>該当項目が 60%未満..... c</p>				<p>□ / □ = □ %</p>		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はa評価とする。</p>	

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e		
3 出来形及び出来ばえ	12.植栽工事	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない				
II 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 活着が促されるよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹木などに損傷、はちくずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由: 					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。</p>		<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。</p>	
		<p>該当項目が 90%以上..... a1 該当項目が 80%以上90%未満..... a2 該当項目が 70%以上80%未満..... b1 該当項目が 60%以上70%未満..... b2 該当項目が 60%未満..... c</p>					<p>上記該当事項があれば・・・ d</p>		<p>上記該当事項があれば・・・ e</p>	
						<p>□ / □ = □ %</p>				
						<p>① 当該評価対象項目のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>				

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	13. 防護柵(網)工事 標識工事 区画線工事	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ガードケーブルを支柱に取り付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。 <input type="checkbox"/> ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が、10%以下であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の施工にあたって、設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由:				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当事項があれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。 上記該当事項があれば・・・ e	
		該当項目が 90%以上..... a1 該当項目が 80%以上90%未満..... a2 該当項目が 70%以上80%未満..... b1 該当項目が 60%以上70%未満..... b2 該当項目が 60%未満..... c	$\frac{\text{ } \quad \text{ }}{\text{ } \quad \text{ }} = \text{ } \quad \text{ } \%$		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。			

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	14.機械設備工事 (1/2)	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の書類(現物照合)を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、承認図書のとおり確保され、品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器の機能及び性能に係わる成績書が整理され、品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性にすぐれていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 小配管、電気配線、配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書を工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書(取扱説明書)に部品等の点検及び交換方法について、まとめていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器の配置が点検しやすいよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配置が、交換頻度の高い部品等の交換作業を容易にできるよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 二次コンクリートの配合試験及び試験練りを実施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> パルプ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。 				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。	
							上記該当事項があれば・・・ d	上記該当事項があれば・・・ e

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	14.機械設備工事 (2/2)	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 現地状況を勘案し、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他理由:</p>						
		<p>該当項目が 90%以上..... a1</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... a2</p> <p>該当項目が 70%以上80%未満..... b1</p> <p>該当項目が 60%以上70%未満..... b2</p> <p>該当項目が 60%未満..... c</p>				<p><input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) ③ 計算の値で評価する。 ④ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>		

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e		
3 出来形及び出来ばえ	15.電気設備工事	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない				
II 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 制作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討が実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が、施行計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成(修繕(改造・更新含む)の場合は、修正又は更新)していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由: 					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。</p>		<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。</p>	
		<p>該当項目が 90%以上..... a1 該当項目が 80%以上90%未満..... a2 該当項目が 70%以上80%未満..... b1 該当項目が 60%以上70%未満..... b2 該当項目が 60%未満..... c</p>					<p>□ / □ = □ %</p>		<p>上記該当事項があれば... d 上記該当事項があれば... e</p>	
		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>								

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	16.維持工事 (清掃工、除草工、付属物工、応急処理等)	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由： <input type="checkbox"/> その他理由： <input type="checkbox"/> その他理由： <input type="checkbox"/> その他理由：					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。	
		<p>該当項目が6項目以上..... a1 該当項目が5項目..... a2 該当項目が4項目..... b1 該当項目が3項目..... b2 該当項目が2項目以下..... c</p>					上記該当事項があれば・・・ d	上記該当事項があれば・・・ e
		<p>注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目数を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大8項目とする。</p>						

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	17.通信設備工事 ・受変電設備工事	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 設計図書に定められている品質管理を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料及び構成部品の品質及び形状について、設計図書等と適合が確認できる証明証等を整備していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料の品質照合の結果が、品質保証等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備、機器の品質、機能及び性能が、成績等で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全体としての運転性能が所定の能力を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書において、設備の機能並びに性能及び操作方法が容易に判別できる資料を整備していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料を整備していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全体及び各機器において、設計図書に規定した品質及び性能を工場試験記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備全体についての取扱説明書を工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由: 					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。
							<input type="checkbox"/> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin-top: 5px;"></div> 上記該当事項があれば・・・ d	<input type="checkbox"/> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin-top: 5px;"></div> 上記該当事項があれば・・・ e
		該当項目が 90%以上…………… a1 該当項目が 80%以上90%未満…………… a2 該当項目が 70%以上80%未満…………… b1 該当項目が 60%以上70%未満…………… b2 該当項目が 60%未満…………… c	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>		<div style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> % </div>			

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	18.修繕工事 (橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由： <input type="checkbox"/> その他理由： <input type="checkbox"/> その他理由： <input type="checkbox"/> その他理由：					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。	
							上記該当事項があれば・・・ d	上記該当事項があれば・・・ e
		該当項目が 6項目以上…………… a1 該当項目が 5項目…………… a2 該当項目が 4項目…………… b1 該当項目が 3項目…………… b2 該当項目が 2項目以下…………… c	注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目数を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大8項目とする。					

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	19.補強土壁	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II 品質	共通	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 壁面材、補強材について、仕様書等で定めている品質管理が実施され、材料の品質証明書等が整備されている。 <input type="checkbox"/> 盛土材料の粒度等の品質管理が適切になされ、試験値により確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工基面が水平、かつ平準に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 補強材が水平、かつたるみや極端な凹凸なく敷設されており、ビンや土盛りなどにより、適宜固定されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛土材料の敷き均し(壁面側より壁面に平行等)、締め固め(巻出し厚、壁面直近の人力転圧等)が適正に行われている。 <input type="checkbox"/> 壁面工の鉛直度等が適切に管理され、壁面変位が少なく、直線性がよい。 <input type="checkbox"/> 壁面材(コンクリート製は4枚以内の積置き)、補強材(シート覆い)等の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 二次製品の吊込み、据付、組立・連結の際に、常に十分な注意を払い、確実にを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> コンクリート打設時に必要な供試体采取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締め固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> その他理由:					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。 [] 上記該当事項があれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。 [] 上記該当事項があれば・・・ e
	コンクリート構造物を有する場合に適用						<p>該当項目が 90%以上..... a1</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... a2</p> <p>該当項目が 70%以上80%未満..... b1</p> <p>該当項目が 60%以上70%未満..... b2</p> <p>該当項目が 60%未満..... c</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>	[] / [] = [] %

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	20. 下水道工事	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 材料の品質照合がミルシート等(現物照合を含む)で確認ができ、満足している。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されている。 <input type="checkbox"/> 薬液注入工の材料が適切であり、注入量及び全体使用量が確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場にて管を切断する場合、適切な方法で切断され、管に損傷がない。 <input type="checkbox"/> 現場にて切断した管の切断面等や塗装面に傷、はがれが生じた場合に処理を行っている。 <input type="checkbox"/> 薬液注入工の注入管理(注入量・圧力、周辺の状況監視)が適切である。 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練が行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量・単位水量・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間(1.5hr(25℃超)or2.0hr(25℃以下))、打設時投入高(1.5m)、締固時のバイブレータの機種、養生方法等、適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度を適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固等の処理を適正に行っている。 <input type="checkbox"/> アスファルト舗装 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練が行われており、適切な混合物の規格が確認できる。 <input type="checkbox"/> アスファルト舗装 混合物の温度管理がプラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。 <input type="checkbox"/> アスファルト舗装 舗設後、直に供用する必要のある現場で、交通開放を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 水圧試験(漏水確認)を行っている。 <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由: 				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。	
		<p>該当項目が 90%以上..... a1</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... a2</p> <p>該当項目が 70%以上80%未満..... b1</p> <p>該当項目が 60%以上70%未満..... b2</p> <p>該当項目が 60%未満..... c</p>				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> % </div>	上記該当事項があれば・・・ d	上記該当事項があれば・・・ e
		<div style="border: 1px dotted black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>						

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e	
3 出来形及び出来ばえ	21.橋梁補修工事 (ひび割れ補修・断面補修工等)	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない			
II 品質	<input type="checkbox"/> ひび割れ補修工 <input type="checkbox"/> 表面含侵・塗装工 <input type="checkbox"/> 断面修復工 <input type="checkbox"/> その他	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 施工前に、クラックを中心にワイヤーブラシ、ディスクサンダー等で表面の汚れ、付着物等を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用材料の特性を理解したうえで天候等現場状況を確認し、気温・湿度等の計測を行い作業していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 主剤と硬化剤の攪拌、配合や可使時間が適切に管理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 注入器具を所定の間隔でひび割れの中心に設置し、シール材の硬化時間を確認してから、注入していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ひび割れ表面をシール材で確実に閉塞しており、注入にあたって注入材の漏れ、ダレがないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 注入器、シール材、コンクリート表面に付着した注入材等をワイヤーブラシ、ディスクサンダー等で完全に除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 高圧洗浄水等で洗浄し、施工面に付着物等が無く清掃されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工時の天候、気温及び湿度、コンクリート表面の水分量等の施工条件を管理し、適切な条件下で塗布していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 規程の回数で塗布されており、空缶管理等により、基準塗布厚を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用材料の特性を十分に理解し、塗布した箇所を適切に管理し塗り抜けなく施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗布後の養生が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 健全部に損傷を与えないよう不良部を完全に撤去し、ブラシ、若しくはエアール等ではつり面の清掃を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 発錆している裏側まではつり取り、鉄筋の錆を完全に除去後、速やかに防錆剤を塗布していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 攪拌、配合が適正に管理され、使用材料に適した可使時間内の施工が確認できる。 <input type="checkbox"/> 断面補修材の強度試験等を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 1回当たりの施工厚は、材料特性を確認し規定の厚さで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工後は直射日光、風等が当たらないようにシートがけ養生を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由:				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当事項があれば・・・ d		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。 上記該当事項があれば・・・ e	
		該当項目が 90%以上..... a1 該当項目が 80%以上90%未満..... a2 該当項目が 70%以上80%未満..... b1 該当項目が 60%以上70%未満..... b2 該当項目が 60%未満..... c	$\frac{\text{ } / \text{ } = \text{ } \%}{}$		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はa評価とする。				

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	22.二次製品水路工事	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II 品質	共通	<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 仕様書等で定めている材料の品質証明書等が整備されている。 <input type="checkbox"/> 二次製品の材料の保管管理が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 掘削面に崩壊・過掘りが無く、施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 中心線及び縦断勾配については、図面どおり適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 製品周辺の盛土・埋戻の施工にあたり、締固め(まき出し・転圧)が適正に行われている。 <input type="checkbox"/> 二次製品の吊込み、据付方法は仕様書どおりに施工されているのが確認できる。 <input type="checkbox"/> 二次製品の吊込み、据付の際に、十分な注意を払っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 継目部の目地モルタル・敷モルタルが仕様書等とおりに適切に施工されていることが確認ができる。 <input type="checkbox"/> 製品の継目部に隙間・ズレが無く、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量・単位水量・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時に必要な供試体採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できるとともに、鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他理由: 					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。
	構造物工						上記該当事項があれば・・・ d	上記該当事項があれば・・・ e
その他		<p>該当項目が 90%以上..... a1</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... a2</p> <p>該当項目が 70%以上80%未満..... b1</p> <p>該当項目が 60%以上70%未満..... b2</p> <p>該当項目が 60%未満..... c</p>					<p style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> % </p>	
<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合にはc評価とする。</p>								

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	23.ほ場整備工事 (1/2)	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
II 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 仕様書等で定めている材料の品質証明書等が整備されている。 <input type="checkbox"/> 畦畔・道路法面・用排水路法面にクラックや損傷がない。又は、損傷部を適切に補修している。 <input type="checkbox"/> 基盤切盛が良好な排水状態を維持するなど適切に施工され、基盤の均平度が良好である。 <input type="checkbox"/> 表土厚さ・客土厚さが適切に確保され、石レキや雑物の混入も少なく、均平度が良好である。 <input type="checkbox"/> 畦畔及び盛土部が十分に締固められている。 <input type="checkbox"/> 畦畔の通り及び畦畔の勾配が図面どおりに適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 盛土の締固めが適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 敷砂利等が均等で平坦性が良好である。 <input type="checkbox"/> 道路の中心線及び縦断勾配については、図面どおり適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品等の接合が適切であり、埋め戻しについては仕様書等に示された条件どおり締固めが実施されている。 <input type="checkbox"/> 排水路の中心線及び縦断勾配については、図面どおり適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品等の材料の保管管理が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 既存施設や付帯構造物との取合わせがスムーズに実施できている。 <input type="checkbox"/> 掘削断面に崩壊・過掘りが無く、施工基面が平滑に仕上げられるとともに、埋め戻しの締固め(撒き出し・転圧)が適正に出来ている。 <input type="checkbox"/> 管水路の中心線及び縦断勾配については、図面どおり適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 仕切弁・空気弁等の設置位置及び接合が、図面・仕様書どおりに適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> パイプ等の材料の保管管理が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 通水試験等が適切に行われ、許容範囲内であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量・単位水量・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時に必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び曇中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できるとともに、鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。	上記該当事項があれば・・・ d 上記該当事項があれば・・・ e	

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e	
3 出来形及び出来ばえ	23.ほ場整備工事 (2/2)	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない			
II 品質	揚水機場・サイホン 暗渠排水工 その他	<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> ポンプ及び電動機の能力が仕様書等で定められている能力以上の製品であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ポンプ及びサイホンの廻り配管は図面等で定められている機能が発揮できる配管であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 吸水管等が適正な勾配で設置され、被覆材に雑物等の混入も無く、仕様書どおり実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 表土戻しが適切に施工され、周囲との段差も無い。</p> <p><input type="checkbox"/> その他理由:</p>							
		<p>該当項目が 90%以上..... a1</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満..... a2</p> <p>該当項目が 70%以上80%未満..... b1</p> <p>該当項目が 60%以上70%未満..... b2</p> <p>該当項目が 60%未満..... c</p>			<p style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> % </p>				
		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。</p>							

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、所見を枠内に記入する。

(工事検査員)

考査項目	工種	a1	a2	b1	b2	c	d	e									
3 出来形及び出来ばえ	24.上記以外の工事又は合併工事	優れている	b1より優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない											
II 品質	共通 <input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由:				<table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr><td> </td></tr> </table>										<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事検査員が修補指示を行った。	
	上記該当事項があれば・・・ d	上記該当事項があれば・・・ e															
		該当項目が 90%以上…………… a1 該当項目が 80%以上90%未満…………… a2 該当項目が 70%以上80%未満…………… b1 該当項目が 60%以上70%未満…………… b2 該当項目が 60%未満…………… c	<input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>												

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入し、a～dに○をつける。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ <input type="checkbox"/>	1. コンクリート構造物工事	<input type="checkbox"/> コンクリート構造物の肌が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 5 項目以上 該当 4 項目 該当 3 項目 該当 2 項目以下	a b c d
		2. 土工事 (盛土・築堤工事等)	<input type="checkbox"/> 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけなどが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 4 項目以上 該当 3 項目 該当 2 項目 該当 1 項目以下	a b c d
		3. 切土工事	<input type="checkbox"/> 規定された勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> 切土法面の施工にあたって、法面の浮石が除去されているなど、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 法面勾配の変化部について、干渉部を設けるなど適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 <input type="checkbox"/> 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 5 項目以上 該当 4 項目 該当 3 項目 該当 2 項目以下	a b c d
		4. 護岸・根固・水制工事	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせが良く、クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 4 項目以上 該当 3 項目 該当 2 項目 該当 1 項目以下	a b c d
		5. 鋼橋工事	<input type="checkbox"/> 表面に補修箇所が無い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。 <input type="checkbox"/> 溶接に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 4 項目以上 該当 3 項目 該当 2 項目 該当 1 項目以下	a b c d
		6. 砂防構造物工事	<input type="checkbox"/> コンクリート構造物の肌が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 漏水が無い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 5 項目以上 該当 4 項目 該当 3 項目 該当 2 項目以下	a b c d

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入し、a～dに○をつける。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ <input type="checkbox"/>	7. 舗装工事	<input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 雨水処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 5 項目以上 該当 4 項目 該当 3 項目 該当 2 項目以下	a b c d
		8. 法面工事	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 植生、吹き付け等の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 3 項目以上 該当 2 項目 該当 1 項目 該当項目無し	a b c d
		9. 基礎工事及び地盤改良工事	<input type="checkbox"/> 土工関係の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部及び天端仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。		該当 3 項目以上 該当 2 項目 該当 1 項目 該当項目無し	a b c d
		10. コンクリート橋上部工事 (PC及びRCを対象)	<input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 支承部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 5 項目以上 該当 4 項目以上 該当 3 項目 該当 2 項目以下	a b c d
		11. 塗装工事	<input type="checkbox"/> 塗装の均一性が良い。 <input type="checkbox"/> 細部まできめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 補修箇所が無い。 <input type="checkbox"/> ケレンの施工状況が良好である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 4 項目以上 該当 3 項目 該当 2 項目 該当 1 項目以下	a b c d
		12. 植栽工事	<input type="checkbox"/> 樹木の活着状況が良い。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けが堅固である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 3 項目以上 該当 2 項目 該当 1 項目 該当項目無し	a b c d

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入し、a～dに○をつける。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3 出来形及び出来ばえ	III 出来ばえ <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; margin: 10px auto;"></div>	13-1. 防護柵(網)工事	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷及び錆が無い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> きめ細やかに施工がされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 5 項目以上 該当 4 項目 該当 3 項目 該当 2 項目以下	a b c d
		13-2. 標識工事	<input type="checkbox"/> 設置位置に配慮がある。 <input type="checkbox"/> 標識の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 標識板の支柱に変色が無い。 <input type="checkbox"/> 支柱基礎が入念に埋め戻されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 4 項目以上 該当 3 項目 該当 2 項目 該当 1 項目以下	a b c d
		13-3. 区画線工事	<input type="checkbox"/> 塗布の塗布が均一である。 <input type="checkbox"/> 視認性が良い。 <input type="checkbox"/> 接着状態が良い。 <input type="checkbox"/> 施工前の清掃が入念に実施されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 4 項目以上 該当 3 項目 該当 2 項目 該当 1 項目以下	a b c d
		14. 機械設備工事	<input type="checkbox"/> 主設備、関連設備及び操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が良い。 <input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 土木構造物、既設設備等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 溶接、塗装、組立等にあたって、細部に渡る配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 4 項目以上 該当 3 項目 該当 2 項目 該当 1 項目以下	a b c d
		15. 電気設備工事	<input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。 <input type="checkbox"/> ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。 <input type="checkbox"/> 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 5 項目以上 該当 4 項目 該当 3 項目 該当 2 項目以下	a b c d

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入し、a～dに○をつける。

(工事検査員)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3 出来形及び出来ばえ	III 出来ばえ <input type="checkbox"/>	16. 維持工事 (清掃工、除草工、付属物工、応急処理等)	<input type="checkbox"/> 小構造物等にも注意が払われている。		該当 3 項目以上 a
		<input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。		該当 2 項目 b	
		<input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。		該当 1 項目 c	
		<input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当項目無し d	
		17. 通信設備工事 ・受変電設備工事	<input type="checkbox"/> 主設備、関連設備等にきめ細やかな施工がなされている。		該当 5 項目以上 a
		<input type="checkbox"/> 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。		該当 4 項目 b	
<input type="checkbox"/> 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能や運用性が良い。		該当 3 項目 c			
<input type="checkbox"/> 当該設備及び関連設備が全体的に協調及び統制され、総合的な性能向上への配慮がなされている。		該当 2 項目以下 d			
<input type="checkbox"/> 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。						
<input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。						
18. 修繕工事 (橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)	<input type="checkbox"/> 小構造物等にも注意が払われている。		該当 3 項目以上 a		
<input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。		該当 2 項目 b			
<input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。		該当 1 項目 c			
<input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当項目無し d			
19. 補強土壁	<input type="checkbox"/> 補強土壁の通りが良い。		該当 4 項目以上 a		
<input type="checkbox"/> 補強土壁の天端の仕上げ及び端部、基礎部の処理が良い。		該当 3 項目 b			
<input type="checkbox"/> 壁面材等の継目部に隙間、ズレがなく、仕上げが良い。		該当 2 項目 c			
<input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけや地山との取合せが良い。		該当 1 項目以下 d			
<input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。						
20. 下水道工事	<input type="checkbox"/> 管口、柵(弁)、天端等の仕上げが良い。		該当 4 項目以上 a		
<input type="checkbox"/> 通りが良い。		該当 3 項目 b			
<input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良く、構造物とのすりつけが良い。		該当 2 項目 c			
<input type="checkbox"/> 設置位置に配慮がある。		該当 1 項目以下 d			
<input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。						
21. 橋梁補修(ひび割れ補修・断面修復工等)	<input type="checkbox"/> 構造物の表面及び端部の仕上げが良い。		該当 4 項目以上 a		
<input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。		該当 3 項目 b			
<input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。		該当 2 項目 c			
<input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来映えの良さが伺える。		該当 1 項目以下 d			
<input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。						

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入し、a～dに○をつける。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3 出来形及び出来ばえ	III 出来ばえ <input type="checkbox"/>	22. 二次製品水路工事	<input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 材料の連結、かみ合わせが良い。 <input type="checkbox"/> 土工の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 構造物との取合せ等が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 4 項目以上 該当 3 項目 該当 2 項目 該当 1 項目以下	a b c d
		23. ほ場整備工事	<input type="checkbox"/> 土工の通りが良く、仕上がりも良い。 <input type="checkbox"/> 付属施設(水口等)に細心の注意が払われている。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良く、取合せも良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 4 項目以上 該当 3 項目 該当 2 項目 該当 1 項目以下	a b c d
		24. 上記以外の工事 または 合併工事	<input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由: <input type="checkbox"/> 理由:		該当 4 項目以上 該当 3 項目 該当 2 項目 該当 1 項目以下	a b c d
※ 該当工種からの考査事項で考査し、最大考査項目は5項目とする。						